

焼き板づくり



1 ねらい

焼き板づくりは、杉板材を火で黒く焦がし、ブラシや布で磨きあげて作る、単純で素朴なクラフト活動である。焼き加減を工夫することで、美しい木目のグラデーションを作り出すことが出来る。

2 所要時間

1. 25時間(色付けなし)
2. 5時間(色付けあり)

3 活動人数

最大 68 人まで【管理棟下 20 人(最大 4 人×5 班)、食堂下ピロティ 48 人(4 人×12 班)】

4 活動場所

食堂下ピロティ、管理棟下ピロティ

5 参加者の服装および準備物

- ・ 長そで、長ズボン(夏季も)、下靴、飲料(ペットボトル)、帽子
- ・ 軍手(綿製品に限る)、古新聞(各班1日分)

6 活動の流れ

- (1) 全員そろって事前指導を受け、活動全体の流れを把握する。
 - ・グループごとに整列して並ぶ。
 - ・動物型の中から制作する板を選ぶ。

- ※杉板には、動物型 4 種類、当日活動中に選択する。
- ・火ばさみ、ワイヤーブラシ、ぞうきんを借りる。



- (2) 火の準備をする。

焼き板を制作する。

- ①杉板を火ばさみで持ち、火であぶる。
 - ・必ず軍手をする。
 - ・板を焼くときには、板全体が炎に包み込まれるようにする。
 - ・同じところばかりを焼くと、焦げつき、焼け落ちるので気をつける。
 - ・火ばさみは、先端がすぐに熱くなるので取り扱いに気をつける。
 - ・風向きによる煙や火の動きに注意する。
 - ・火がついて燃えている板や端に火種が残っている場合はぞうきんで押さえて消す。

動物型



焼き上がり

②ワイヤーブラシで板の表面をこすり、炭を落とす。

- 必ず軍手を着用する。
- 木目に沿ってワイヤーブラシを動かす。
(ワイヤーブラシをいろいろな方向に動かすと板に傷がつく。)
- 板の端や切れ目に炭が残りやすいので気をつける。



③板をぞうきんでこすり、つやを出す。

- 木目に沿って、ぞうきんでこする。
- 板の表面に光沢がでるとよい。

④目、金具、ひもをつける。

- 目は木工用ボンドで固定する。
- 金具が付きにくいときは、ペンチなど工具を使うとよい。力を入れすぎると板が割れるので気をつける。
- 木の芯の部分(節)に金具を取り付けることは難しいので、板をよく確かめて、金具を取り付ける。



⑤ポスターカラーで、板にデザインをして完成。

(4) 後片付けをする。

- 借りた工具やぞうきんなどは、所定のところに整頓して返す。
- 清掃用具を使い、すすなどが床に残らないように掃除する。



(5) お互いの作品を鑑賞し、評価し、全員そろって事後指導を受ける。